

# 学校関係者評価委員会報告書

専門学校 沖縄ブライダルモード学園

2020年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

## 記

### 1、実施状況

日時：2021年3月24日～26日

場所：今年度については新型コロナウイルス感染防止のため、会員の方への書類郵送及びメールでの実施としました。

### 2、学校関係者評価委員

業界関係者 1名

卒業生 1名

顧問税理士所長 1名

### 3、学校関係者評価委員会報告

以下「自己評価及び学校関係者評価」に評価委員の評価及び評価コメント、今後の改善策を記載し報告します。

以上

## 自己点検評価及び学校関係者評価

【専門学校 沖縄ブライダルモード学園】

自己点検評価実施日	2021年 3月 20日
学校関係者評価実施日	2021年 3月 27日
自己点検評価区分	4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切
学校関係者評価区分	4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切 (関係者評価は関係者人数の平均点とする)
役割	学校関係者評価は、実践的な職業教育の質を確保するための、自己評価を評価する事を目的としている

評価項目	評価内容	達成状況	自己評価	関係者評価	
I 教育	<b>1、教育理念・目標・育人人材像</b>				
	①	教育理念・目標は明文化されているか	文書化しており、学校のしおり、HP、パンフレットへ記載している。	4	4
	②	教育理念は職員・学生に共通理解されているか	文書化しており、職員・学生は、年度初めに学校のしおりに記載したもので確認する。	4	4
	③	育成する人材像は定められているか	社会変化に適応できる人材を育成する事として、育成する人材像は文書化し定めている	4	4
	<b>2、教育実践体制</b>				
	①	カリキュラム(教育課程)は法令に則って適切に策定されているか	教育課程は、専門知識を習得するための基準は法令に則り策定されている	4	4
	②	修業年間におけるカリキュラムの設定は適切に策定されているか	時代のニーズに合った人材育成を目標とし、カリキュラムは半期ごとに内容を策定する	4	4
	③	カリキュラムの策定委員は設定されているか	教務や業界関係者との話し合いを設け、カリキュラム、学校行事等について学校長及び教職員で設定している	4	4
	④	成績評価基準、進級並びに卒業等の規定は明文化されているか	成績・卒業認定の規定は明文化され、講師等へ評価付けの基準として明示している	4	4
	⑤	学生指導をはじめ修学支援並びに相談などの支援体制は整っているか	担任・副担任制で、相談体制・環境を整え常に学生への声掛けを心がけている	4	4
	⑥	資格取得のための支援体制は整っているか	各検定ごとの資格取得対策授業を集中して行い、資格取得に向け必要に応じて教室や備品を放課後開放し支援している	4	4
	⑦	就職指導における支援体制は整っているか	業界企業から、就職指導担当者として現場の要求を伝えることにより、学生が早い段階から就職を意識して行動することができている	4	4
	⑧	インターンシップ、学外研修について、十分な教育体制を整えているか	コロナ禍により期間短縮を図りながら、卒業時期までを目標に専門知識、業務理解、自身にあった職場体験等、実施段階ごとの目的を策定し実施した。	3	3
	⑨	学生のボランティア活動を推奨し支援しているか	コロナ感染防止のため、ボランティア内容により、実施した又、受け入れ態勢等、感染防止対策を従事し支援している	3	3
	<b>3、教育環境</b>				
	①	法令に準じた施設・整備が整っているか	学校独自のブライダルに関する実習室等を整備、パソコン室、図書室等は姉妹校である学園と共有し利用している	4	4
	②	学校独自の学費等の就学支援について学生や保護者に明示しているか	進路検索を行う学生・保護者が検索しやすいよう、学校HP及びパンフレットへ掲載している	4	4
	③	他の修学支援期間等の情報提供を行っているか	学校HPやパンフレットへ掲載し、入学後は、掲示板やHRにて学生へ情報提供を行っている	4	4
	④	ブライダル業界など関係業界の情報を学生に明示している	専門企業等から学生はじめ、教職員への情報を常に提供している	4	4
	⑤	学生や保護者の相談等に応ずる体制を整えているか	担任・副担任を配置し、常に相談しやすい環境を整えている	4	4
<p>学校関係者評価コメント                      [2-⑧]コロナ禍におけるインターンシップ実施において、今後もより一層、教育現場と企業間との連携が必要のため、引きつづき業界関係者との連携を図り、質を定めた実習内容を行ってほしい。</p> <p>今後の改善策                      ◇インターンシップは期間短縮し実施している為、今後も業界関係者との連携を図り質を定めた実習とするよう、務める。                      ◇新年度も引き続き安全性に配慮し、できる限りの対面授業の対応をとり、必要のある学生へは、同時オンライン受講により、学習機会の確保を図ります。尚、カリキュラム内容によっては授業体制の見直しが必要となる。</p>					

II 学校経営	1、管理・運営					
	①	学校運営方針を策定しているか	学則を基に学校運営方針の規定はあるが、新年度新たに策定し文書化。	4	4	
	②	学校は自己評価を行い、その結果を公開しているか	毎年度6月に学校情報として公開 又、自己評価は毎年度公開するものとする	4	4	
	③	学校関係者評価委員会を設置しているか	学校関係者複数名を配置し、年度末に学校評価委員会を設け、今後の課題等について評価をいただく	3	3	
	④	施設や設備等は法令に則って設置しているか	校舎、施設・設備等は学生定員数に対し、学校設置基準を満たしている	4	4	
	⑤	施設、設備、備品などは定期的に点検・補修・補充するか	年2回(夏・春)に備品の確認、補修、補充を確認し、授業の充実を図る。又、今年度はコロナ過での授業対策として、オンライン授業に必要な設備等を早急に準備し実施することができた。	4	4	
	⑥	教育理念に沿った教職員の配置はなされているか	キャリアのある教職員が配置され、教育理念に沿った教育の配置がなされている	4	4	
	⑦	教職員の研修は実施されているか	コロナ禍でオンラインセミナー参加ではあるが、専門分野及び育成に関する研修等に参加する事を推奨し支援している。	4	4	
	⑧	講師における学校規約は明文化されているか	文書化され、毎年度初めの講師契約の時期に明示している	4	4	
	⑨	外部人材の意見を反映する事の出来る組織は設置しているか	「BMGサポーターズ」として複数名で構成されていて、学校評価結果内容及び学校の取り組みに対し、審議し、その意見を基に、改善する為の必要な措置をとる	4	4	
	⑩	関係教育機関並びに関連業界等の動向は、常に情報収集を行っているか	ほとんどの講師が業界で活躍中であることと、学内外での企業講話や見学等を実施し情報収集を行っている	4	4	
	2、安全管理(危機管理)					
	①	防犯・火災等の防災対策は策定されているか	自然災害時の組織体制を文書化し、職員室に掲示	4	4	
	②	AEDなどを含む施設設備の防災対策は成り立っているか	AEDは一階エントランスに設置している。各階、各教室で防災、防煙の設備は設置している	4	4	
	③	防災訓練は実施しているか	避難訓練として、本来は姉妹校含め、合同で行うが、今年度はコロナ過で少人数体制各学年ごとに実施を行った。	4	4	
	④	情報公開における個人情報保護の対策は整っているか	学校規定の通り、文書化されている	4	4	
	⑤	学校及び学生保険に加入しその内容は学生、保護者に明示しているか	各学年の年度初めに全学生は学生保険、インターンシップ保険へ加入する。その内容等はオリエンテーションにて学生へ配布している	4	4	
	⑥	感染症における感染対策での独自の予防対策は明文化されているか	文部科学省規定に沿った、本校独自のコロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインを明文化している。	4	4	
	⑦	感染症における感染予防策の基準は学生、保護者、職員へ明示されているか	ガイドラインは学生・保護者へ配布し、学校入口の見やすい場所に掲示している。	4	4	
	3、学生募集					
	①	学校の宣伝(PR)や学生募集活動は積極的に実施しているか	学校パンフレット、HPをはじめ、SNSでの配信も定期的に活用し、学校情報をPRしている	4	4	
	②	学生募集における学校説明会を実施しているか	複数業者と契約し、年間通して、計画的に参加している コロナ禍で中止も多かったが、安全に配慮し実施した、	4	4	
	③	オープンキャンパスを実施しているか	基本的に月一回の週末に実施している 又、夏季、春休みの時期は当学生の成果発表会や、企業見学会等の特別内容のOPCを実施	4	4	
	④	就職実績、資格取得、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に明示されているか	学内掲示板、学校HP、パンフレット等で掲載し、公開している	4	4	
	⑤	入学選考は適正かつ公平な基準が明文化されているか	選考基準は明文化されている。	4	4	
	⑥	学費の減免等、学校独自の支援制度を明示しているか	学校HPやパンフレットに各支援制度の内容を明示している	4	4	
	<p>学校関係者評価コメント 【1-⑤】オンライン授業はコロナ禍の一時的なものとならず、今後もさらにオンラインとリアル、オンデマンド等、さまざまな方法で授業を工夫しながら実施できるとよい。</p> <p>今後の改善策 ◇コロナ禍の状況を踏まえ、学内での感染防止対策として、環境整備を十分に行い、安全性に考慮し、安心した学習環境を整えるよう努める。 ◇コロナ禍での授業体制として、遠隔授業に必要とする情報機器設備を完備し務めた。新年度も状況を確認しながら、環境整備を整えるよう努める。 ◇3密を避けより安心、安全を第一に考慮し、次年度入学生定員を15%程削減することとする。</p>					
	III 財務	①	財政基盤は安定しているか	運営資金は安定しており、長期借入れも滞りなく返済している	4	4
		②	年次予算を策定しているか	毎年の予算案はあるが、次年度は新たに策定し、予算表作成を行う	3	3
		③	会計処理は適切におこなわれているか	月ごとに顧問税理士確認がはいる	4	4
④		会計監査は適切に実施しているか	年度ごとに顧問税理士に依頼している	4	4	
⑤		講師料等の規定は明文化されて実施しているか	個々人の履歴等を基準に設定している。又その基準は文書化している	4	4	
⑥		正規職員の就業規定は明文化されているか	平成29年度に策定された規定を継続している	4	4	
<p>学校関係者評価コメント ◇顧問税理士との定期的な確認と年度ごとの会計監査が行われており特に問題はない。</p> <p>今後の改善策 ◇財務状況の安定に努めていきます。 ◇安定的な運営に努めていきます。</p>						